



進路指導だより

～一人一人のよりよい生活を考えて～

令和6年12月6日発行

茨城県立結城特別支援学校
進路指導グループ

高等部では、9月30日から10月11日までの10日間、普通科、B・L科2年生、3年生が第Ⅱ期現場実習、普通科1年生は校内実習、B・L科1年生は進路週間を行いました。現場実習では、生徒一人一人が卒業後の生活に向けて一生懸命に取り組む姿が見られました。校内実習、進路週間では、事業所から仕事をいただき緊張感をもって作業に取り組んでいました。一部ですが、今回の実習で頑張ったこと、課題になったことをご紹介します。

現場実習



高B・L科2年Bさん：

一般企業（バーコードシールの貼り付け、箱詰め、食品運び など）

- 少しずつ環境に慣れ話ができるようになった。
- 分からないことを聞いてメモを取ることができた。
- ★必ず挨拶をして、いろんな人に慣れるようにする。



高B・L科3年Dさん：

一般企業（洗車、タオル回収補充、車両点検、アプリ紹介 など）

- 元気にお客様対応ができた。
- 丁寧に作業ができた。
- 積極的に行動し、アプリ登録の成果をあげることができた。
- ★ミスや報告忘れがあったので一つ一つ確認する。



高普通科3年Aさん：

A型事業所（ケーブル巻き、シールの枚数確認、タオル折り など）

- 自分で考えながら作業することができた。
- 丁寧に時間内集中して作業に取り組むことができた。
- ★スピードと正確性を両立させる。
- ★報告ははっきりと相手に伝わるように行う。



高普通科2年Cさん：

B型事業所（軽作業：箱折り、ネジ締め、袋詰め など）

- 指示通りに作業することができた。
- わからないことは自分から質問することができた。
- ★丁寧な言葉づかいをする。



高普通科3年Dさん：

生活介護事業所（シールはがし、段ボール運び、カラオケ、色塗り など）

- 落ち着いて時間内作業に取り組めた。
- 利用者の方と一緒に楽しく過ごすことができた。
- ★1日の見通しを持ちできるだけ自分で行動できるようにする。

校内実習

(高普通科1年：校内実習)

作業内容： パンフレット折り



両面テープ貼り



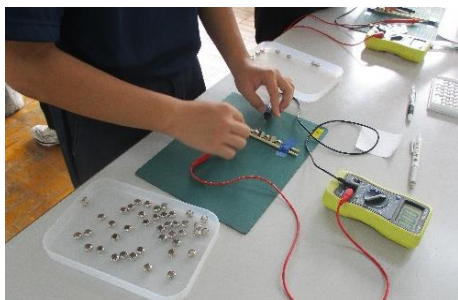
報告場面



- ・丁寧に工程通り行うことができた。
- ・先生の話聞いて分からないことは質問することができた。
- ・次の実習に向けて、一日も休まないことを目標にしたい。
- ・ミスが減らせるように確認する。

(高B・L科1年：進路週間)

作業内容： 電池の検品作業



部品の計数



- ・正確に作業することができた。
- ・すぐに報告・連絡・相談をすることができた。
- ・次回は作業スピードを上げられるようにする。
- ・今後、立ち仕事での体力をつける。

卒業後のことについて、「どうなるんだろう」と不安・心配なことがたくさんあるかと思いますが、生徒自身が目標をもち、適切な支援・環境があれば、活躍できる場所(進路)はたくさんあります。また、『定着』という部分についても、本人の意思を中心に進路決定した場合、長く続けられている傾向があります。

卒業時の進路先から、働く場や働き方を変えた卒業生は、それぞれが改めて自分と向き合い、『自分に合った社会とのつながり方』を、自分で、または支援者(家族や相談支援事業所)と一緒に見つけ、進んでいます。

進路を考える上で、「自分自身を知り、自分で目標や見通しをもつこと」は大切です。卒業後の生活がより充実したものになるように、今から『自分を知ること』を意識できるようにしていきましょう。

